



令和8年度 伏見魅力発信パートナー (旧伏見連続講座) 事業実施予定一覧

以下の内容は「令和8年9月1日(火)」時点の情報です。

<事業へのご参加について>

- ・開催を中止する場合は速やかに、参加申込を受け付けた参加者の方に御連絡いたします。
- ・会場及び集合場所にお越しいただく事業は事前申込制です。
事前連絡のない当日参加はお断りいたします。
- ・HPにて随時最新情報を公開するとともに、直近の事業については、市民しんぶん区民版(毎月15日発行)にて広報いたします。

<京都いつでもコール> 午前8:00～午後9:00(年中無休)

電 話 075-661-3755 ※おかけ間違いにご注意ください。
F A X 075-661-5855
H P <https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>

No.	開催日時	講座概要	申込等	問合せ
1	9月26日(土) 14時～16時 (開場13時30分)	「秀吉の指月伏見城、幻から実像へ～最新の発掘調査成果をもとに～」 豊臣秀吉の政治拠点として歴史上極めて重要な役割を持ちながら、慶長伏見地震による倒壊とその後の伏見山伏見城の築城に伴う大規模な地形改変によって長年その姿が謎に包まれてきた指月伏見城。しかし近年の発掘調査で、相次いで指月伏見城のものと考えられる石垣や堀、建物跡が見つかりました。 本講座では、それらの発掘調査成果をもとに指月伏見城の実像に迫りたいと思います。 講師 柏田 有香氏 (京都市埋蔵文化財研究所調査 係長)	申込受付は 終了いたしました。 定員：100名(多数抽選・当選者のみ連絡) 会場：伏見区役所1階ホール 申込先：京都いつでもコールにて受付 申込期間：8月18日(火)～8月29日(土) その他 ・当選者のみ開催1週間前までにハガキにて通知・当日はこのハガキを必ずご持参ください。	伏見指月城を考える会 ☎075-571-6546(武内) ✉ 571milj@jcom.zaq.ne.jp(武内)
2	10月25日(日) 9時30分～12時 (集合9時20分)	歴史探訪ウォーキング 「東海道五十七次 深草の天津街道・伏見街道巡り」 東海道五十七次の五十三次(天津宿)から五十四次(伏見宿)間にある、深草を通る東海道(天津街道～藤杜岐道～伏見街道)を歩き、今も残る町家や寺社等を巡り、当時の歴史及びその後の変遷にも思いを馳せましょう。 コース：深草支所～谷口町～浄蓮華院(桓武天皇陵?)～筆坂・久宝寺町(町家見学)～即成就院跡～藤森神社～藤杜岐道～墨染寺～欣浄寺(伏見大仏)～撞木町 ガイド 杉田 鈴子氏 (深草古絵図プロジェクト)	定員：20名(申込先着順) 開催場所：深草地域 集合場所：深草支所 申込先：090-2355-5486(杉田) FAX 075-642-1417 申込期間：9月24日(木)～10月9日(金) 申込方法：電話 FAX 記入事項(1.お名前 2.住所 3.電話番号) 受付期間：月～金曜(土日祝日除く) 9時～17時	深草古絵図プロジェクト ☎090-2355-5486(杉田) FAX 075-642-1417

<京都いつでもコール> 午前8:00～午後9:00 (年中無休)
電 話 075-661-3755 ※おかけ間違いにご注意ください。
F A X 075-661-5855
H P <https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>

3	11月1日(日) 14時～16時 (開場13時30分)	『二十世紀電氣目録』に描かれた明治の伏見 ～作者 結城弘が語る創作秘話～ TVアニメーション「二十世紀電氣目録-ユーレカ・エヴリカ-」の原作小説『二十世紀電氣目録』は、新京極の仏具店で働く15歳の坂本喜八と、伏見の蔵元の娘で同じく15歳の百川稲子の2人を軸に、京都と滋賀を主な舞台として描かれた物語です。表紙のイラストにある京都電氣鉄道のほか、伏見稲荷大社、墨染インクラインなどが登場し、明治時代後半のまちや人々が生き生きと描かれています。そこで、原作者の結城弘氏を講師にお招きし、小説が生まれたきっかけや創作の舞台裏について、お話しいただきます。 講師 結城 弘氏 (小説家)	定員：100名(申込先着順) 会場：伏見区役所 大会議室 申込先：右記申込フォームにて受付 申込期間：9月18日(金)～10月18日(日) その他 ・参加無料 ・申込者数が定員に達した場合、上記期間中であっても受付を終了します。	伏見チンチン電車の会 ✉ fushimi.chinchindensha@gmail.com ↓ 申込はこちらから↓ 
4	11月7日(土) 14時～16時 (受付13時30分)	横大路の共同墓地で見つかった「餓死諸霊塔」の意義 江戸時代の三大飢饉の一つ「天保の大飢饉」は日本中が飢餓の被害に遭いました。被害の一番大きかった東北ではその餓死の供養塔が数多く建てられました。京都でも餓死者が多くいましたが、京都市内には飢饉に関する供養塔は1基もありませんでした。2023年横大路郷にて餓死諸霊塔が確認されました。何故に京都に一基も餓死供養塔がなかったのか？見つからなかったのか？その経緯と理由をお伝えしたいと思います。 講師 吉平 裕美氏 (京都歴史研究会・代表)	定員：100名(多数抽選・当選者のみ連絡) 会場：伏見区役所 1階ホール 申込先：京都いつでもコールにて受付 申込期間：10月17日(土)～10月24日(土) その他 ・当選者のみ開催1週間前までにハガキにて通知・当日はこのハガキを必ずご持参ください。	伏見指月城を考える会 ☎075-571-6546 (武内) ✉ 571milj@jcom.zaq.ne.jp (武内)
5	11月8日(日) 13時30分～15時30分 (受付13時)	「伏見板橋の尾張御殿で何があったのか」 座学 江戸時代の尾張藩伏見藩邸についての講演。 講師 若林 正博氏 (伏見城研究会 伏見史研究者)	定員：100名(多数抽選・当選者のみハガキにて連絡) 会場：伏見区役所 4階大会議室 申込先：京都いつでもコールにて受付 申込期間：9月29日(火)～10月8日(木) その他：当選者のみ開催1週間前までにハガキにて通知・当日はこのハガキを必ずご持参ください。	桃山同窓会 齋藤 ☎080-5706-2919